

【中学校】

新規	書名	作者	出版社	本の紹介
1	【シリーズ】 The MANZAI [1]	あさの あつこ ／作 鈴木 びんこ ／画	ポプラ社	「勉強できたかて、スポーツできたかて、なんぼのもんや。おもしろいやつが勝ちやで。」文化祭での漫才「ロミオとジュリエット」にむかってひた走る中学生たちの姿を描く。
2	一瞬の風になれ	佐藤 多佳子 ／著	講談社	サッカーに限界を感じた新二と、やる気のない天才スプリンター連。とくに強豪でもない春野台高校陸上部に入部した幼なじみの2人。それがすべての始まり。思わず胸が熱くなる、とびきりの陸上青春小説。
3	大きな木のような人	いせ ひでこ ／作 ジョルジュ・メテリエ ／監修	講談社	人はみな心の中に、1本の木をもっている。パリの植物園で花を引き抜いてしまった少女に、植物学者はひまわりの種を与えた。それ以来、少女の心に小さな芽が育ち…。
4	神去なあなあ日常	三浦 しをん ／著	徳間書店	高校卒業と同時に平野勇気が放り込まれたのは、三重県の林業の現場。携帯も通じない山奥、ダニやヒルの襲来。四季のうつしい神去村で、個性的な村人たちと繰り広げる騒動記。
5	和菓子のアン	坂本 司 ／著	光文社	デパ地下の和菓子屋で働きはじめた梅本杏子、通称アンちゃん。個性的な同僚と、遊び心に満ちた和菓子に囲まれた、忙しい日々。謎めいたお客さんたちの言動に秘められた意外な真相とは？
6	受験脳の作り方 脳科学で考える効率的学習法	池谷 裕二 ／著	新潮社	脳(海馬)の研究をする著者(藤枝出身)が、自分のスイッチを入れられる方法を科学的に優しく説明した本。
7	【シリーズ】 赤毛のアン	モンゴメリ ／著 村岡 花子 ／訳	新潮社	アンの成長とともに周りの人々も変化していく。前向きに生きる姿に力をもらえる本。
8	私、日本に住んでいます	スベンドリニ・カクチ ／著	岩波書店	多文化共生という現代的なテーマに沿う。様々な立場の人について知ることができる入門書。
9	漫画で楽しく歌を味わう 百人一首	吉海 直人 ／監修	ブティック社	歌に詠まれた背景や作者の人物像なども、漫画やイラストで分かりやすく紹介した本。
10	【ガリレオシリーズ6】 真夏の方程式	東野 圭吾 ／著	文藝春秋	初めての長編におすすめ。本が苦手だと思っている男子中学生にもぜひ読んでほしい一冊。

	11	行為の意味 青春前期の君たちへ	宮澤 章二 ／著	ごま書房新社	詩集・中学生に対して語りかけ続けている。作者は「思い」は見えないけど「思いやり」は誰にでも見えるという詩で有名。
新規	12	羅生門・鼻	芥川 龍之介	新潮社	人間の心理に興味を持ったことがあるだろうか。芥川龍之介はさまざまな場面での人間心理を見事に表現している。この二編は、歴史舞台をかりて、登場人物の心の動きを自分のこのように読み進められる作品だ。
新規	13	ダラエヌールの子供たち (伊藤和也写真集)	伊藤 和也／著	石風社	アフガニスタンの水路建設に参加した掛川市出身の伊藤和也氏は、2008年に武装グループの凶弾に倒れた。享年31歳。作業の合間に、現地の農民や子供達を写すのが楽しみだった。子供達の澄んだ瞳がファインダー越しに伊藤氏を見つめる、そんな光景が浮かんでくるような写真集。
新規	14	コンビニ兄弟1～3	町田 そのこ	新潮社	門司港にある、とあるコンビニを舞台に繰り広げられる心温まるお仕事小説。ありえないほどの色気を振りまく名物店長と、そこに集う個性的な客たちとのやりとりが魅力である。こんなコンビニがあったらいいのと思わせてくれる一冊。
新規	15	NHK国際放送が選んだ 日本の名作	朝井 リョウ 石田 衣良 他／ 著	双葉社	全世界で聞かれているNHK WORLD-JAPANのラジオ番組で、17の言語に翻訳し、朗読された作品がある。その中から、人気作家8名の短編を収録。異国の人々が耳を傾けたショートストーリーの名品が一冊の文庫となってあなたのもとへ。
新規	16	カカ・ムラド～ナカムラのおじさん	ガフワラ／原作	双葉社	中村哲医師は、支援先のアフガニスタンで凶弾に倒れた。そんな中村さんの功績を語り継ぐために、現地で出版された2冊の絵本に解説を加えてまとめられたもの。多くの命を救った彼の生き方や人生を知ることができる。
新規	17	ウクライナから来た 少女ズラータ、16歳の日記	ズラータ・イヴァシコワ／ 文・絵	世界文化ブックス	「あなたはこれから一人で生きていくの。」母の一言から避難が始まった。戦火が広がる故郷ウクライナから、あこがれの日本をめざした少女の140日間を綴る日記。爆撃やコロナ感染の不安を乗り越え、絵の仕事に就くことを夢見て日夜勉強に励む。自作のイラストが掲載されている。
新規	18	ありがとう、さようなら	瀬尾 まいこ／著	KADOKAWA	「瀬尾先生！」本屋大賞受賞、続々と映像化される著作。今や売れっ子となった著者も、かつてそう呼ばれていたことがあった。「ありがとう」と「さようなら」があふれる中学校での生活。著者と生徒たちのなにげない日常を切り取ったほっこリエッセイ。
新規	19	きみの町で	重松 清／著	朝日出版社	「こども哲学」から生まれた物語。失ったもの、忘れないこと、生きること。「なぜ？」と出会ったとき、一緒に立ち止まって考え、並んで歩いてゆく。作家が少年少女のためにつづった小さな物語集。
新規	20	中学生までに読んでおきたい 哲学1～8	松田 哲夫／編	あすなろ書房	哲学は本や講義の中にだけあるもの、そう思いませんか。日常の暮らしの中、それを綴った文章の中、いろんなところに考えるためのヒントがちりばめられています。多彩な書き手による味わい深い文章の中から、考えるヒントをみつけてください。

※出版社は、この限りではない。